

ミャンマー天然資源環境保全省及び日本環境省の政策対話 共同声明

2018年1月16日

ミャンマー国 ネピドー

オン・ウィン ミャンマー連邦共和国天然資源環境保全省大臣 (MONREC) 及び伊藤忠彦 日本国環境副大臣は、2018年1月15日、ネピドーにおいて、日本・ミャンマー間の環境協力の成果と計画を議論するため、第1回日ミャンマー環境政策対話を実施しました。対話の結論として、オン・ウィン大臣と伊藤副大臣は両国の環境協力を拡大するとの共同の声明を発表しました。

環境省と MONREC の包括的な環境協力を強化することの重要性の認識の下、双方は、日本国環境省とミャンマー国天然資源環境保全省との間の環境協力に関する覚書の草稿を終えたことを確認し、できるだけ早く環境協力覚書を署名する意思があることを再確認しました。

双方は、本政策対話、第1回ミャンマー廃棄物管理ワークショップ及び環境インフラ・技術セミナーを含む「日本・ミャンマー環境ウィーク」を、初の日本環境ウィークとしてミャンマーにて開催できることを歓迎しました。双方は、環境技術及びその技術の普及のためには公的及び民間セクターの参画が重要であることを認識し、気候変動、廃棄物管理及び水処理分野の日本の官民参加者が、セミナーにおいて技術やノウハウを共有するようアレンジすることを確認しました。

双方は、JCM を含む気候変動、水質改善、廃棄物管理における日本・ミャンマーの環境協力の最近の進展を確認し、公的及び民間セクターの活動を含む協力活動の進展に継続して努力する意思を再確認しました。

双方は、廃棄物管理と環境影響評価の分野において以下の通りの協力活動を実施し、日本国環境省及びミャンマー国天然資源環境保全省間の関係を進化する視点での議論を継続する意向を確認しました。

廃棄物管理

日本国環境省及びミャンマー国天然資源環境保全省は、廃棄物管理に関する関係者の共通理解の重要性を認識し、関係者のための能力開発活動を開始することに合意しました。今回の日本・ミャンマー環境ウィークにおける第1回ワークショップに加えて、双方は、年内に第2回能力開発のためのワークショップを実施することに合意しました。また、日本国環境省はミャンマー国の関係者を廃棄物管理研修のため日本に招待することを約束しました。

環境影響評価

日本国環境省及びミャンマー国天然資源環境保全省は、ミャンマーにおけるプロジェクトの環境影響評価の審査を適切な時間で行うための環境影響評価審査官の養成の緊急的な需要を認識し、JICAの環境影響評価に関する能力開発のための継続的な支援を歓迎しました。双方は、両省の協力活動の一部をJICAと連携して実施することとし、日本のEIA専門家の研修への派遣や、環境影響評価における環境技術や経験に関する資料等の提供も含むインプットの詳細を2018年の5月までに集中的に議論することに合意しました。

双方は、民間企業の関与により日本の技術の知識やノウハウを共有するため、環境インフラ技術セミナーのような機会を継続して作ることに合意しました。

双方は、両省間の第2回政策対話を本年年末または来年の早期に、日本にて実施することに合意しました。

(以上)